

ママパパ ひるば

48

兵庫県と神戸新聞子育てクラブ「すきっぷ」が連携して進める「一日パパ・ママ体験！～大学生の子育て家庭訪問～」が本年度も始まっています。学生らは少子化で子どもと触れ合う機会が少なく、育児に対する漠然とした不安を抱きがち。そんな不安を解消してもらおうという取り組みです。

新型コロナウイルス感染拡大で、実際の訪問はわずかですが、検温やマスク着用など感染防止対策をして実施。オンラインに切り替えたり、この事業を大学の講義テーマに設定してもらったり、新たな形での「体験」も生まれています。

神戸教育短大1年の近藤千歳さん(19)は8月、3歳と1歳の姉妹宅を訪問。約2時

「育児体験」大学の講義に



訪問した家庭で子どもたちと遊ぶ「一日パパ・ママ体験」の参加学生ら
＝神戸市灘区

間、持参したおもちゃなどで遊びました。子どもと関わった経験が少なく、子育てに「自分の時間が全て奪われてしまうかも」と不安がありました。訪問先の母親から「近くに住む祖父母の力を借り、学生やお年寄

りと交流するようにしている」と聞き、「子育ては周囲の人と一緒にするものだ」と肩の力が抜けたそうです。将来は保育士を目指しています。

甲南女子大人間科学部の伊藤篤教授のゼミでは、オンライン講義で参加学生のアンケート結果などを読み、レポートを作成。

「パパ・ママ体験」サイトの「お知らせ・メディア掲載」コーナーで公開しています。実際に体験した学生の率直な感想や写真などもぜひご覧ください。

(すきっぷスタッフ 萩原 真)

神戸新聞子育てクラブ

すきっぷ



◆上のQRコードを読み取ると、「すきっぷ」のサイトにアクセスできます。